

あいさつ

ここ六ヶ所村立郷土館には、明治・大正期から昭和40年代にかけての昔の生活の道具だけでなく農具や漁具が収蔵されています。泊地区のアワビ漁やコンブ漁並びにイカ漁、新納屋地区での地引漁や尾駁地区や高瀬川でのマテ漁などの道具。また、馬や牛との共存の長い歴史もあります。戦後の開拓で使われた道具や木挽き鋸などの山仕事の道具や畑作や米作りの道具などを展示いたしました。手に取り実際に体験できる展示や道具を対比することで時代意識が養われるような展示を心掛けました。

今回は、旧二又小学校の子供たちが制作した教育版画のカレンダーや昨年本館に寄贈された民具等も展示し、当時の人々が、どのような思いで、ここ六ヶ所村で生活していたのかを、「感じ取って」いただければ幸いです。

最後に、この企画展をとおして、六ヶ所村の魅力の「発掘・発見・発信」につながることを願っております。

ろっかしょそんりつきょうどかんしていかりしゃ
六ヶ所村立郷土館指定管理者
いっばんざいだんほうじんろっかしょむらぶんかしんこうこうしゃ
一般財団法人六ヶ所村文化振興公社
ろっかしょそんりつきょうどかん かんちょう すずき ひろし
六ヶ所村立郷土館 館長 鈴木 浩